

病害虫発生予報

第6号（9月予報）

令和元年8月28日

岐阜県病害虫防除所

【予報の概要】

作物名	病害虫名	対象地域名	9月予報	
			発生時期	発生量
水稻	穂いもち	岐阜・西濃、中濃地域	平年並	やや少
	ツマグロヨコバイ	岐阜・西濃、中濃地域	平年並	やや少
	トビイロウンカ	栽培地域全域	平年並	少
	斑点米カメムシ類	岐阜・西濃、中濃地域	平年並	やや少
大豆	カメムシ類	栽培地域全域	—	やや少
	ハスモンヨトウ	栽培地域全域	—	平年並
かき	ハマキムシ類	岐阜・西濃、中濃地域	平年並	やや多
なし	黒星病	栽培地域全域	—	やや少
果樹類	果樹カメムシ類	栽培地域全域	—	平年並 (飛騨地域：多)
夏秋トマト	灰色かび病	中濃、東濃、飛騨地域	—	やや多
野菜一般	アブラムシ類	栽培地域全域	—	少
	ハスモンヨトウ	栽培地域全域	—	平年並
	タバコガ類 (キクを含む)	栽培地域全域	やや遅	やや少 (飛騨地域：多)
	アザミウマ類	栽培地域全域	—	少
施設野菜	コナジラミ類	岐阜・西濃地域	—	やや少

※発生時期の—は連続発生

【防除にあたっての注意事項等】

薬剤防除にあたっては、「病害虫・雑草防除指導指針」を参照するとともに、最新の農薬登録情報を確認し、使用基準を遵守してください。

外部リンク：農薬登録情報提供システム（農林水産消費安全技術センター）
http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

【発生予報・根拠・注意事項等】

I 普通作物

1 水稻

穂いもち	対象地域	発生時期 <最盛期>	発生量
	岐阜・西濃、中濃地域	平年並（9月第2半旬頃）	やや少

(1) 予報の根拠（発生量が多くなる要因を（+）、少くなる要因を（-）で表記）

ア 中晩生種の出穂期は、平年並と予想される。

イ 葉いもちの発生ほ場率は、岐阜・西濃、中濃地域は低く（-）、飛騨地域は平年並（±）、東濃地域は高かった（+）。葉いもちの上位葉での発病は、岐阜・西濃、中濃、飛騨地域は少なく（-）、東濃地域は平年並であった（±）。

ウ 穂いもち発生ほ場率は、岐阜・西濃、中濃、東濃地域はやや低く～低く（-）、飛騨地域はやや高かった（+）。

エ 向こう1ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（-）、降水量は多い（+）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

- ア 出穂期以降の多雨は、本病の発生を助長するので、葉いもち多発ほ場では特に注意する。
- イ MBI-D(カルプロパミド、ジクロシメット、フェノキサニル等)剤に対する耐性菌が当県でも確認されているため、別系統の薬剤を使用する。また、Q o I 剤に対する耐性菌が確認されているため、薬剤の選択に注意する。
- ※ 病虫害図鑑「いもち病について」もあわせて参考にしてください。

ツマグロヨコバイ	対象地域	発生時期 <幼虫最盛期>	発生量
	岐阜・西濃、中濃地域	平年並 (9月第2半旬頃)	やや少

- (1) 予報の根拠
- ア 予察灯における誘殺数は、岐阜・西濃地域で少なく(－)、中濃地域が多かった(+)。
- イ ほ場での発生量は、岐阜・西濃地域で少なく(－)、中濃地域が多かった(+)。
- ウ 向こう1ヶ月(8/24～9/23)の気象予報によれば、気温は高く(+)、降水量は多い(－)と予想される。
- (2) 防除上注意すべき事項
- ア 地域による発生量の差が大きいので、発生状況に注意する。
- ※ 病虫害図鑑「水稻 ツマグロヨコバイについて」もあわせて参考にしてください。

トビイロウンカ	対象地域	発生時期 <幼虫・成虫最盛期>	発生量
	栽培地域全域	平年並	少

- (1) 予報の根拠
- ア 予察灯での誘殺は、認められていない(－)。
- イ 8月下旬までの調査では、ほ場での発生は認められていない(－)。
- ウ 向こう1ヶ月(8/24～9/23)の気象予報によれば、気温は高く(+)、降水量は多い(－)と予想される。
- (2) 防除上注意すべき事項
- ア 今後の発生状況等について、「病虫害情報」等に注意する。
- ※ 病虫害図鑑「水稻 セジロウンカ・トビイロウンカについて」もあわせて参考にしてください。

斑点米カメムシ類	対象地域	発生時期 <最盛期>	発生量
	岐阜・西濃、中濃地域	平年並	やや少

- (1) 予報の根拠
- ア 出穂期は、平年並と予想される。
- イ 予察灯でのカスミカメ類の誘殺数は、岐阜・西濃地域で少なく(－)、中濃地域でやや少なかった(－)。
- ウ 本田での発生虫数は、少なかった(－)。
- エ 向こう1ヶ月(8/24～9/23)の気象予報によれば、気温は高く(+)、降水量は多い(－)と予想される。
- (2) 防除上注意すべき事項
- ア 散布剤による防除は、穂揃期およびその7～10日後の2回を基本とする。
- イ 粒剤による防除は出穂期の7～10日後が基本となる。ただし、剤によっては施用時期が異なるため注意する。
- ※ 病虫害発生予察注意報第1号「斑点米カメムシ類(飛騨地域)」(令和元年7月25日)、病虫害図鑑「斑点米カメムシ類について」もあわせて参考にしてください。

2 大豆

カメムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや少

- (1) 予報の根拠
- ア 予察灯への初飛来は、岐阜・西濃地域で遅く(－)、東濃地域で認められていない(－)。
- イ 予察灯における誘殺数は、岐阜・西濃地域で少なかった(－)。
- ウ 向こう1ヶ月(8/24～9/23)の気象予報によれば、気温は高く(+)、降水量は多い(－)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 雑草地が多い地域や山間地など、地域、ほ場によって発生状況が異なるため注意する。

※ 病害虫図鑑「大豆 カメムシ類について」もあわせて参考にしてください。

ハスモンヨトウ	対象地域	発生量
	栽培地域全域	平年並

(1) 予報の根拠

ア フェロモントラップにおける誘殺数は、岐阜・西濃地域でやや少なかった（－）。

イ 向こう1ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は多い（－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。

イ フェロモントラップを設置してモニタリングしているほ場では、今後の誘殺数に十分注意する。

※ 病害虫図鑑「大豆 ハスモンヨトウについて」もあわせて参考にしてください。

II 果樹等作物

1 かき

ハマキムシ類	対象地域	発生時期<第4世代幼虫最盛期>	発生量
	岐阜・西濃、 中濃地域	平年並（9月第5半旬頃）	やや多

(1) 予報の根拠

ア フェロモントラップにおける第2世代成虫の誘殺最盛期は、岐阜・西濃地域で平年並（±）、中濃地域ではまだ認められていない。

イ 岐阜・西濃地域のフェロモントラップにおけるチャノコカクモンハマキの第2世代成虫誘殺数は、やや多かった（＋）。中濃地域のフェロモントラップにおけるチャハマキの第2世代成虫誘殺数は、多かった（＋）。

ウ ほ場での第3世代幼虫被害果率は、低かった（－）。

エ 向こう1ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は多い（－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア ヘタ部やつづりあわせた葉内などに生息するため、薬剤防除はていねいに行う。

※ 病害虫図鑑「かき ハマキムシ類について」もあわせて参考にしてください。

2 なし

黒星病	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや少

(1) 予報の根拠

ア 発病葉率は、岐阜・西濃、中濃地域で低かった（－）。

イ 岐阜・西濃地域における発病果率は、低かった（－）。

ウ 向こう1ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（－）、降水量は多い（＋）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 多発園では秋期防除を徹底し、次年度の伝染源の発生を抑制する。

※ 病害虫図鑑「なし 黒星病について」もあわせて参考にしてください。

3 果樹共通

カメムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	平年並 （飛騨地域：多）

(1) 予報の根拠

ア 予察灯におけるチャバネアオカメムシ成虫誘殺数は、岐阜・西濃地域でやや少なく（－）、中濃地域で平年並であった（±）。

- イ 予察灯におけるクサギカメムシ成虫誘殺数は、岐阜・西濃、飛騨地域で多く（＋）、中濃地域で少なかった（－）。
- ウ かきの被害果率は、岐阜・西濃、中濃地域で低く（－）、飛騨地域におけるりんごの被害果率は高かった（＋）。
- エ 向こう1ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は多い（－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 気温、湿度が高く、風が弱い夜間に飛来が多くなるので注意する。

※ 病害虫発生予察注意報第2号「果樹カメムシ類（飛騨地域）」（令和元年8月15日）、病害虫図鑑「果樹カメムシ類について」もあわせて参考にしてください。

Ⅲ 野菜

1 夏秋トマト

灰色かび病	対象地域	発生量
	中濃、東濃、飛騨地域	やや多

(1) 予報の根拠

ア 8月下旬調査時の発病果率は、中濃、東濃地域で低く（－）、飛騨地域で平年並であった（±）。

イ 発病株率は、高かった（＋）。

ウ 向こう1ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（－）、降水量は多い（＋）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤耐性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。

※ 病害虫図鑑「トマト 灰色かび病について」もあわせて参考にしてください。

2 野菜一般

アブラムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	少

(1) 予報の根拠

ア 黄色水盤での誘殺数は、岐阜・西濃、中濃、飛騨地域で少なく（－）、東濃地域で平年並であった（±）。

イ ほ場での発生は、少なかった（－）。

ウ 向こう1ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は多い（－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤抵抗性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。

※ 病害虫図鑑「ナス アブラムシ類について」もあわせて参考にしてください。

ハスモンヨトウ	対象地域	発生量
	栽培地域全域	平年並

(1) 予報の根拠

ア フェロモントラップの誘殺数は、岐阜・西濃地域でやや少なく（－）、中濃、東濃地域で平年並であった（±）。

イ 向こう1ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は多い（－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。

※ 病害虫図鑑「野菜類 ハスモンヨトウについて」もあわせて参考にしてください。

タバコガ類 （野菜類・キク）	対象地域	発生時期 <若齢幼虫最盛期>	発生量
	栽培地域全域	やや遅（9月第2半旬頃）	やや少 （飛騨地域：多）

(1) 予報の根拠

ア 野菜類のフェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺時期は、中濃地域で遅く（－）、東濃地

- 域でやや遅く（－）、飛騨地域では平年並であった（±）。
- イ 野菜類のフェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺数は、中濃、東濃地域で少なく（－）、飛騨地域で多かった（＋）。タバコガの誘殺数は、中濃、東濃地域で少なく（－）、飛騨地域で多かった（＋）。
- ウ キクスのフェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺数は、中濃、飛騨地域で多かった（＋）。
- オ 向こう1ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は多い（－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

- ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。
 ※ 病害虫図鑑「ナス タバコガ類について」もあわせて参考にしてください。

アザミウマ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	少

(1) 予報の根拠

- ア なすほ場での発生は、少なかった（－）。
- イ 向こう1ヶ月（8/25～9/21）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は多い（－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

- ア 薬剤抵抗性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。
 ※ 病害虫図鑑「キュウリ ミナミキイロアザミウマについて」もあわせて参考にしてください。

3 施設野菜

コナジラミ類	対象地域	発生量
	岐阜・西濃地域	やや少

(1) 予報の根拠

- ア 岐阜・西濃地域のトマト施設周辺に設置した黄色粘着板への誘殺数は、少なかった（－）。
- イ 向こう1ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は多い（－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

- ア 発生はほ場ごとに差があるため、ほ場内をよく観察し発生が認められる場合は薬剤防除を実施する。
 ※ 病害虫図鑑「トマト コナジラミ類について」もあわせて参考にしてください。

[参考資料1]

【8月の調査における病害虫発生量】

作物名	病害虫名	調査地点での発生量：8月			
		岐阜・西濃地域	中濃地域	東濃地域	飛騨地域
水稻	穂いもち	少	やや少	少	やや多
	紋枯病	少	やや少	少	多
	ツマグロヨコバイ	少	多	－	－
	セジロウンカ	少	少	少	平年並
	トビイロウンカ	少	少	少	少
	斑点米カメムシ類	少	やや少	－	－
大豆	カメムシ類	少	－	少	－
	ハスモンヨトウ	やや少	－	少	－
かき	ハマキムシ類	やや多	やや多	－	－
	カキノヘタムシガ	少	－	－	－
なし	黒星病	少	少	－	－
果樹共通	果樹カメムシ類	平年並	平年並	平年並	多
夏秋トマト	灰色かび病	－	多	多	多

野菜一般	アブラムシ類	少	少	平年並	少
	ハスモンヨトウ	やや少	平年並	平年並	—
	タバコガ類	—	少	少	多
	アザミウマ類	少	少	少	—
施設野菜	コナジラミ類	少	—	—	—

※調査地点はほ場、予察灯、フェロモントラップ等

[参考資料 2]

【東海地方 1 か月気象予報】 (抜粋) 一名古屋地方气象台 令和元年 8 月 22 日発表

《予想される向こう 1 カ月の天候 (8 月 24 日から 9 月 23 日)》

- ・天気は数日の周期で変わるでしょう。
- ・向こう 1 か月の平均気温は、高い確率 50% です。
- ・週別の気温は、1 週目は、平年並の確率 50% です。2 週目は、平年並または高い確率ともに 40% です。3～4 週目は、平年並または高い確率ともに 40% です。

[向こう 1 ヶ月の気温、降水量、日照時間の各等級の確率 (%)]

	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
平均気温	20	30	50
降水量	30	30	40
日照時間	40	30	30

[気温経過の各階級の確率 (%)]

	低い	平年並	高い
(1 週目) 8/24～8/30	20	50	30
(2 週目) 8/31～9/6	20	40	40
(3～4 週目) 9/7～20	20	40	40

[参考資料 3]

《用語の基準と使用法》

- 1 半旬 月の 1～5 日を第 1 半旬、6～10 日を第 2 半旬と表す。
- 2 時期 平年並 平年値を中心として前後 2 日以内。
やや早い 平年値より 3～5 日早い。
やや遅い 平年値より 3～5 日遅い。
早い 平年値より 6 日以上早い。
遅い 平年値より 6 日以上遅い。
- 3 発存量 平年並 平年値を中心として、その値が ±20% 以内。
やや多い 平年値より、その値が 21～40% 多い。
やや少ない 平年値より、その値が 21～40% 少ない。
多い 平年値より、その値が 41% 以上多い。
少ない 平年値より、その値が 41% 以上少ない。
- 4 平年値 同一調査地点における過去 10 年間の値の平均値。

病虫害防除所ホームページに、病虫害発生予察調査データを公開しています。

http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/index_12100.html

主要な病虫害の防除上の注意事項等については、「病虫害図鑑」をご活用ください。

http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/index_63587.html